平成26年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年12月10日

上場会社名　株式会社 大盛工業　　上場取引所　東
コード番号　1844　　URL　http://www.ohmori.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）関　忠夫
問合せ先責任者（役職名）執行役員　経理部長　（氏名）宮路　晴男　TEL 03-3627-3221
四半期報告書提出予定日　平成25年12月13日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年7月期第1四半期の業績（平成25年8月1日～平成25年10月31日）

(1) 経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年7月期第1四半期	370	△22.4	△52	—	△60	—	△61	—
25年7月期第1四半期	477	△36.9	△32	—	△26	—	△27	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年7月期第1四半期	△0.56	—
25年7月期第1四半期	△0.29	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年7月期第1四半期	3,280	2,262	69.0	18.78
25年7月期	2,959	1,842	62.2	18.07

（参考）自己資本　26年7月期第1四半期　2,262百万円　25年7月期　1,839百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年7月期	—				
26年7月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 7月期の業績予想（平成25年 8月 1日～平成26年 7月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,050	13.2	△6	—	△15	—	△19	—	△0.38
通期	2,900	7.3	82	26.5	87	38.5	80	24.2	0.79

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年7月期1Q	120,527,498 株	25年7月期	102,027,498 株
② 期末自己株式数	26年7月期1Q	39,352 株	25年7月期	39,292 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年7月期1Q	110,268,621 株	25年7月期1Q	91,913,211 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、詳しくは【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第１四半期累計期間 …… 6
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（セグメント情報等） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（重要な後発事象） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期会計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策への期待感から円安が進行し、株価上昇等により明るい兆しは見られたものの、欧州債務問題の長期化、新興国の経済成長減速等の影響により、国内景気は行き先不透明な状況で推移しております。

建設業界におきましては、熾烈化している受注競争に加え、労働者不足に伴う労務賃金の上昇や、円安に伴う建設資材の価格高騰等を背景に厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては、主力の上・下水道の施工におきまして、他社との差別化を図るため、より一層技術力の向上と安全面の向上及び東北支店の営業活動を強化してまいりました。また、不動産部門におきましては、引き続きＯＬＹ機材等の一層の普及促進に向け、積極的に新規顧客獲得に向け営業を展開してまいりました。

その結果、当第１四半期会計期間の業績につきましては、売上高3億70百万円（前年同期比22.4％減）となりました。

収益面につきましては、原価低減、経費削減に努めましたが、営業損失52百万円（前年同期は32百万円の営業損失）となりました。

経常損益面につきましては貸倒引当金繰入額等により60百万円の経常損失（前年同期は26百万円の経常損失）となりました。

四半期純損益につきましては、61百万円の四半期純損失（前年同期は27百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

（建設事業）

建設事業におきましては、引き続き公共投資の縮減による落札価格の低価格化が続いております中、技術力及び安全面の向上、営業活動の強化を行ってまいりましたが、当第１四半期累計期間に完成した水道工事の１案件がいまだ金額的に合意に至っていないため、保守的に工事損失引当金繰入額を36百万円計上しております。この結果、建設事業の第１四半期累計期間の業績につきましては、受注高53百万円（前年同期比48.2％減）、売上高2億74百万円(前年同期比31.7％減）、完成工事総損失8百万円（前年同期は14百万円の完成工事総利益）となりました。

（不動産事業等）

不動産事業等におきましては、ＯＬＹ機材の拡販により、売上高93百万円(前年同期比25.8％増）となり、不動産事業等総利益15百万円（前年同期比15.8％増）となりました。

（その他）

その他事業におきましては、売上高2百万円、その他の売上総損失0百万円（前年同期は1百万円のその他の売上総損失）となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

当第１四半期会計期間末の資産の残高は、32億80百万円となり、前事業年度末に比べ3億20百万円増加いたしました。その主な要因は、現金預金2億79百万円及び建設仮勘定96百万円の増加によるものであります。

当第１四半期会計期間末の負債の残高は、10億17百万円となり、前事業年度末に比べ99百万円減少いたしました。その主な要因は、支払手形・工事未払金等1億17百万円の減少によるものであります。

当第１四半期会計期間末の純資産の残高は、22億62百万円となり、前事業年度末に比べ4億19百万円増加いたしました。その主な要因は、資本金2億42百万円の増加、資本準備金2億42百万円の増加及び当期純損失61百万円によるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第１四半期会計期間までの業績は、平成25年９月13日に公表いたしました通期の業績予想に概ね沿った内容となっており変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年７月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年10月31日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	687,927	967,522
受取手形・完成工事未収入金等	601,564	465,007
未成工事支出金	70,395	113,018
不動産事業等支出金	192,973	223,630
販売用不動産	95,061	95,061
前払費用	10,187	5,470
その他	314,823	341,859
貸倒引当金	△13,530	△21,920
流動資産合計	1,959,404	2,189,650
固定資産		
有形固定資産		
建物	878,138	878,138
減価償却累計額	△668,390	△673,931
建物（純額）	209,748	204,206
構築物	103,918	103,918
減価償却累計額	△103,918	△103,918
構築物（純額）	0	0
機械及び装置	52,510	52,510
減価償却累計額	△52,510	△52,510
機械及び装置（純額）	0	0
車両運搬具	2,232	2,232
減価償却累計額	△2,073	△2,112
車両運搬具（純額）	159	119
工具器具・備品	74,221	74,221
減価償却累計額	△66,622	△67,094
工具器具・備品（純額）	7,598	7,127
土地	402,253	402,253
建設仮勘定	104,005	200,117
有形固定資産合計	723,766	813,824
無形固定資産	6,743	6,463
投資その他の資産		
長期貸付金	191,384	189,870
破産更生債権等	2,252	2,252
固定化営業債権	224,783	224,783
その他	231,710	236,219
貸倒引当金	△380,406	△382,784
投資その他の資産合計	269,724	270,341
固定資産合計	1,000,233	1,090,629
資産合計	2,959,638	3,280,280

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年７月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年10月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	248,474	131,348
短期借入金	220,000	220,000
未払金	16,565	1,222
未払費用	68,230	67,894
未払法人税等	8,910	2,632
未払消費税等	3,376	－
未成工事受入金	225,180	230,679
預り金	32,724	30,540
工事損失引当金	12,463	48,978
完成工事補償引当金	15,781	16,802
賞与引当金	9,799	19,849
その他	117	83
流動負債合計	861,624	770,031
固定負債		
長期借入金	242,000	234,500
その他	13,212	13,212
固定負債合計	255,212	247,712
負債合計	1,116,836	1,017,743
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,030,566	2,272,740
資本剰余金	325,546	567,720
利益剰余金	△460,173	△521,436
自己株式	△56,485	△56,488
株主資本合計	1,839,453	2,262,536
新株予約権	3,348	－
純資産合計	1,842,802	2,262,536
負債純資産合計	2,959,638	3,280,280

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成24年８月１日 至　平成24年10月31日）	当第１四半期累計期間 （自　平成25年８月１日 至　平成25年10月31日）
売上高		
完成工事高	402,261	274,672
不動産事業等売上高	74,276	93,446
その他の売上高	674	2,225
売上高合計	477,211	370,343
売上原価		
完成工事原価	388,005	282,932
不動産事業等売上原価	60,691	77,717
その他の売上原価	2,265	3,003
売上原価合計	450,962	363,653
売上総利益		
完成工事総利益又は完成工事総損失（△）	14,255	△8,260
不動産事業等総利益	13,584	15,728
その他の売上総損失（△）	△1,591	△778
売上総利益合計	26,248	6,690
販売費及び一般管理費	58,346	59,445
営業損失（△）	△32,097	△52,755
営業外収益		
不動産賃貸料等	13,652	8,441
その他	2,886	5,318
営業外収益合計	16,539	13,759
営業外費用		
支払利息	4,655	3,509
支払手数料	－	1,400
不動産賃貸原価	3,311	3,610
貸倒引当金繰入額	80	9,925
雑支出	2,818	2,748
営業外費用合計	10,866	21,193
経常損失（△）	△26,424	△60,188
税引前四半期純損失（△）	△26,424	△60,188
法人税、住民税及び事業税	907	1,074
法人税等合計	907	1,074
四半期純損失（△）	△27,331	△61,263

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

１．報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、建築工事・土木工事の請負、施工、不動産の売買を中心として事業活動を展開しております。従って当社は、「建設事業」、「不動産事業等」を報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

建設事業　　：建築・土木工事の施工・監理及び請負業務を行っております。

不動産事業等：土地・建物の購入販売、及びＯＬＹリース業を行っております。

２．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。また、報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。

３．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第１四半期累計期間（自　平成25年８月１日　至　平成25年10月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期損益計算書 計上額 (注)2
	建設事業	不動産事業等	計				
売上高 (1)外部顧客への売上高 (2)セグメント間の内部売上高又は振替高	274,672 －	93,446 41,711	368,118 41,711	2,225 －	370,343 41,711	－ △41,711	370,343 －
計	274,672	135,157	409,829	2,225	412,054	△41,711	370,343
セグメント利益又は損失(△)	△51,477	3,768	△47,709	△5,045	△52,755	－	△52,755

(注)1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クローゼットレンタルの売買等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する情報

当第１四半期累計期間のセグメント利益又はセグメント損失に与える影響は軽微であります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成25年３月27日付で、マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社に新株予約権の第三者割当をいたしました。この結果、当第１四半期会計期間において、資本金が242,174千円、資本準備金が242,174千円増加し、資本金2,272,740千円、資本準備金567,720千円となっております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。